

◆旧製品から XIT-3xxシリーズに、Bluetooth 通信でクローンを行なう手順◆

★【実施に当たっての前提条件】★

旧製品からのクローンは、XIT-3xxシリーズの OS バージョンが Ver.03.00.00 以降の製品のみ可能となります。
Ver.03.00.00 以前のバージョンの場合、OS のバージョンアップを実施してからの対応となります。

注意事項

- ◆クローンを実行する時は次のことを十分にご理解の上、細心の注意を払って実行してください。◆
- ※ 下記の手順に従って設定する事で、Bluetooth 通信によるクローンが実行されます。
- ※ Bluetooth 通信で電波状態が悪い場合、コピーが正常に行われなくても、マスター側で「完了しました」と表示が出る場合があります。
- ※ バッテリー残量が十分あることを確認してからクローンを実行してください。
- ※ コピー側の端末は、インポート実行時に端末内の全てのフォルダが初期化される可能性があります。そのためクローンに失敗した場合、設定値が出荷時の状態に戻ったり、ファイルが全て消去されたりします。
- ※ コピー側の端末は、クローン対応への準備のため、クローン可能な状態になるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

≪事前準備≫

■手順 1 - クローンを実行するための準備 - (XIT シリーズ/PET-100-M へのデバイス登録を実施する)

※クローンのマスター側になる旧製品は XIT-1xx シリーズ、PET-100-M、XIT-2xx シリーズ となります。

●XIT-2xxシリーズ/PET-100-M の場合

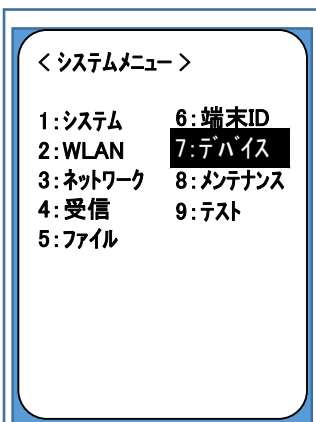
【SCAN】キー＋【PW】キーを同時押下し、ハンディターミナルの電源を立ち上げ「システムメニュー」を起動します。

●XIT-1xxシリーズの場合

【読取り】キー＋【PW】キーを同時押下し、ハンディターミナルの電源を立ち上げ「システムメニュー」を起動します。

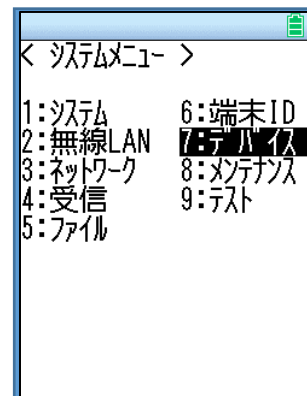
【「ローカルデバイス」の「セキュリティ」の設定を合わせる】

マスター側(旧製品)



①<システムメニュー>の表示が出ますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「7:デバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



②<システムメニュー>の表示が出ますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「7:デバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

※旧製品では、製品により表示される<システムメニュー>の項目が異なりますが、選択する「デバイス」の項目は同じです。上図は、代表機種 XIT-100-BR の説明となります。以下代表機種の画面での説明となります。

マスター側(旧製品)

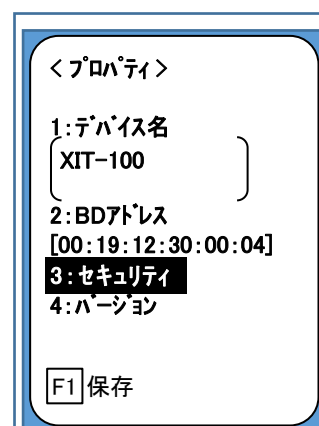
コピー側(XIT-3xx シリーズ)



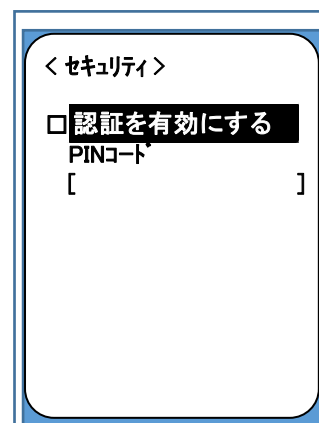
③<デバイス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:Bluetooth」を選択し、【ENT】キーを押下します。



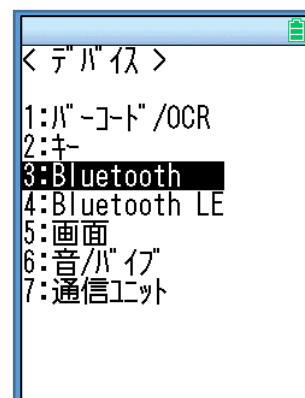
⑤<Bluetooth>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1:ローカルデバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。



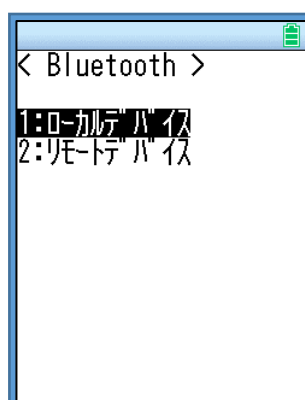
⑦<プロパティ>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:セキュリティ」を選択し、【ENT】キーを押下します。



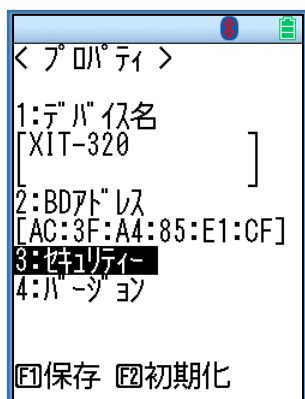
⑨<セキュリティ>のメニューが表示されますので、「認証を有効にする」のチェックボックスにチェックが付いていないことを確認し、【C】キーを4回押下して「システムメニュー」に戻ります。



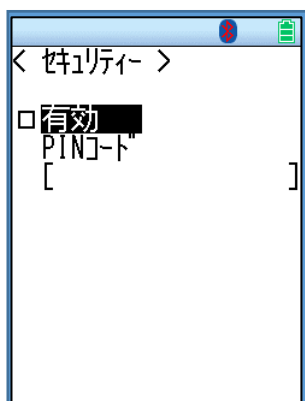
④<デバイス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:Bluetooth」を選択し、【ENT】キーを押下します。



⑥<Bluetooth>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1:ローカルデバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。



⑧<プロパティ>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:セキュリティ」を選択し、【ENT】キーを押下します。



⑩<セキュリティ>のメニューが表示されますので、「有効」のチェックボックスにチェックが付いていないことを確認し、【C】キーを4回押下して「システムメニュー」に戻ります。

どちらかにチェックが付いていた場合は手順2へ、どちらもチェックが付いていなかった場合は、手順3に進みます。

■手順 2 - クローンを実行するための準備 - (ローカルデバイスのセキュリティ設定を合わせる)

「旧製品」または、「XIT-3xx シリーズ」のセキュリティのチェックボックスにチェックが付いていた場合

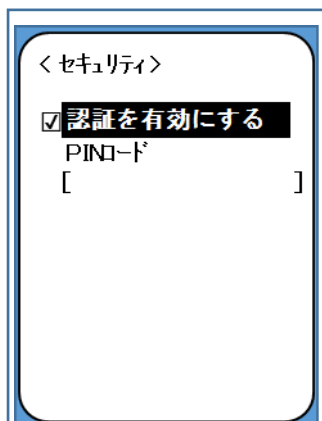
下記の手順でチェックボックスのチェックを外し、変更内容の保存が必要です。変更手順を下記に記載します。

※ 旧製品、XIT-3xx シリーズどちらかにチェックがある場合は、チェックがある側のみを実施してください。

※ 旧製品、XIT-3xx シリーズ共にチェックボックスにチェックが**無い**場合は、この内容は実施する必要はありません。

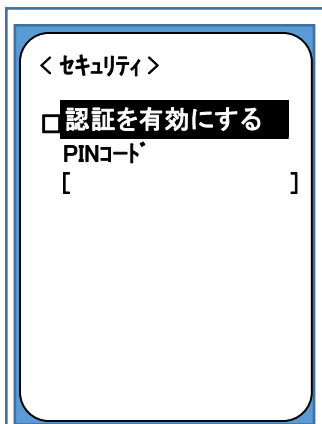
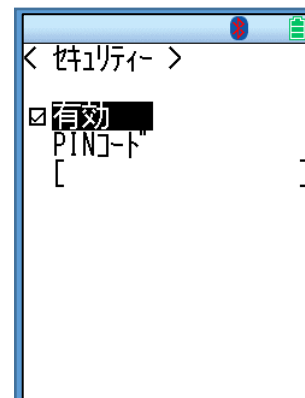
マスター側(旧製品)

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



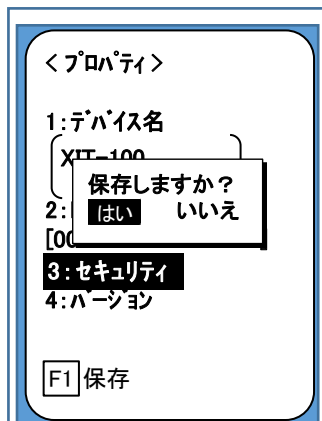
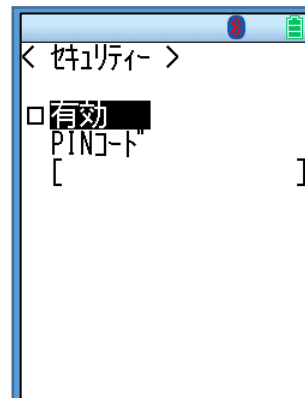
①<セキュリティ>のメニューが表示されますので、「認証を有効にする」のチェックボックスにチェックが付いていたら【ENT】キーを押下しチェックを外します。

②<セキュリティー>のメニューが表示されますので、「有効」のチェックボックスにチェックが付いていたら【ENT】キーを押下しチェックを外します。



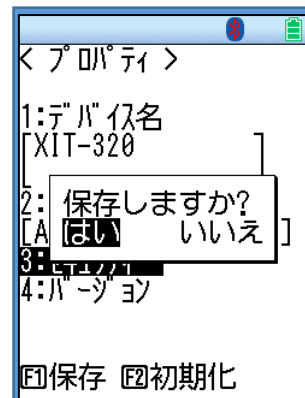
③<セキュリティ>のメニューで「認証を有効にする」のチェックボックスのチェックが外れている事を確認し【C】キーを押下します。

④<セキュリティー>のメニューで「有効」のチェックボックスのチェックが外れている事を確認し【C】キーを押下します。



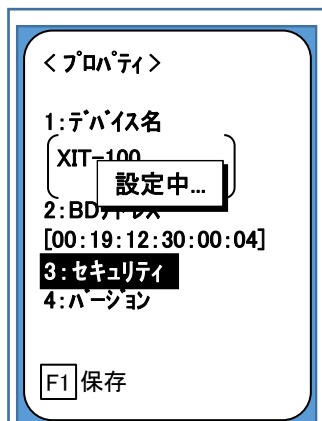
⑤<プロパティ>のメニューが表示されますので【F1】キーを押下します。「保存しますか? はい いいえ」の表示が出ますので「はい」を選択し、【ENT】キーを押下し変更した設定を保存します。

⑥<プロパティ>のメニューが表示されますので【F1】キーを押下します。「保存しますか? はい いいえ」の表示が出ますので「はい」を選択し、【ENT】キーを押下し変更した設定を保存します。



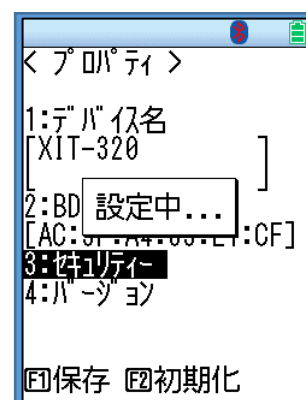
マスター側(旧製品)

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



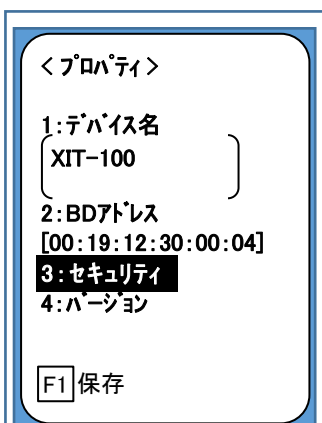
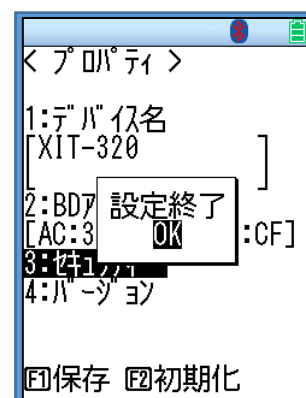
⑦「設定中…」の表示が出ますので、その後「設定終了」の表示になるまでそのまま待ちます。

⑧「設定中…」の表示が出ますので、その後「設定終了」の表示になるまでそのまま待ちます。



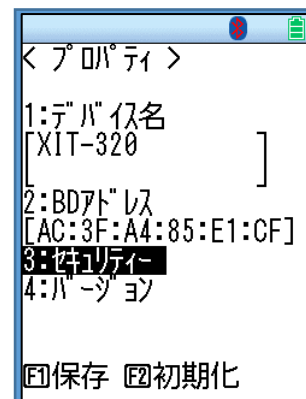
⑨「設定終了」と OK の反転文字が表示されます。【ENT】キーを押下すると設定変更の保存が完了となります。

⑩「設定終了」と OK の反転文字が表示されます。【ENT】キーを押下すると設定変更の保存が完了となります。



⑪<プロパティ>のメニュー表示に戻りますので、【C】キーを3回押下して<システムメニュー>に戻します。

⑫<プロパティ>のメニュー表示に戻りますので、【C】キーを3回押下して<システムメニュー>に戻します。



ここまでで「旧製品」、「XIT-3xx シリーズ」共に手順 2 は終了です。

■手順 3 - クローンを実行するための準備 - (マスター側からの接続先を登録する)

「旧製品」に、「XIT-3xx シリーズ」の Bluetooth の接続先のデバイス名を登録する。

マスター側(旧製品)

<システムメニュー>

- 1:システム
- 2:WLAN
- 3:ネットワーク
- 4:受信
- 5:ファイル
- 6:端末ID
- 7:デバイス
- 8:メンテナンス
- 9:テスト

①<システムメニュー>の表示が出ますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「7:デバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

<デバイス>

- 1:バーコード
- 2:キー
- 3:Bluetooth
- 4:画面
- 5:音/パイプ

③<デバイス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:Bluetooth」を選択し、【ENT】キーを押下します。

<Bluetooth>

- 1:ローカルデバイス
- 2:リモートデバイス

⑤<Bluetooth>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「2:リモートデバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

コピー側(XIT-3xx シリーズ)

②<システムメニュー>の表示が出ますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「7:デバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

<システムメニュー>

- 1:システム
- 2:無線LAN
- 3:ネットワーク
- 4:受信
- 5:ファイル
- 6:端末ID
- 7:デバイス
- 8:メンテナンス
- 9:テスト

④<デバイス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:Bluetooth」を選択し、【ENT】キーを押下します。

<デバイス>

- 1:バーコード/OCR
- 2:キー
- 3:Bluetooth
- 4:Bluetooth LE
- 5:画面
- 6:音/パイプ
- 7:通信ユニット

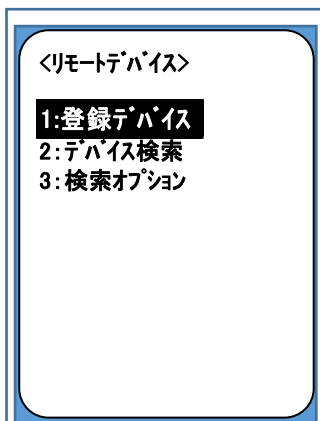
⑥<Bluetooth>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1:ローカルデバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

<Bluetooth>

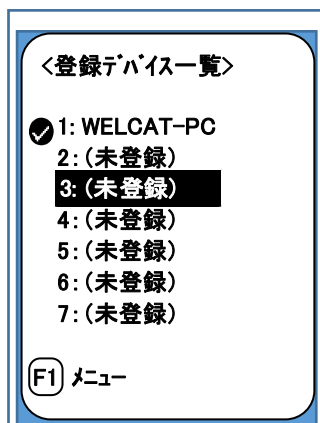
- 1:ローカルデバイス
- 2:リモートデバイス

マスター側(旧製品)

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



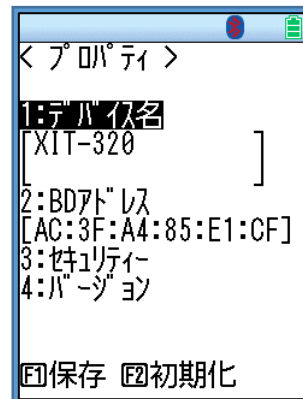
⑦<リモートデバイス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1:登録デバイス」を選択し、【ENT】キーを押下します。



⑨<登録デバイス一覧>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「(未登録)」の番号を選択し、【ENT】キーを押下します。選択した未登録の番号にデバイスを登録します。

⑨の画面で1~7の全てが(未登録)になっていた場合は、「1:(未登録)」を選択してください。

⑧<プロパティ>のメニューが表示されますので、コピー側は、マスター側のデバイス登録設定が完了するまでこの画面を保持します。



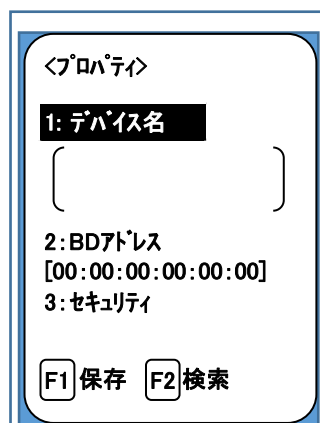
マスター側のデバイス検索時には、必ず検索される端末(コピー側)のローカルデバイスのプロパティのメニューを表示させた状態にしておいてください。表示させた状態になっていなかった場合は、デバイス検索でコピー側の端末を検出できずデバイス登録ができなくなりますのでご注意ください。

<手順 3>の ⑯を除く⑩~⑳までのデバイス登録手順は、「マスター側」のみの設定となります。

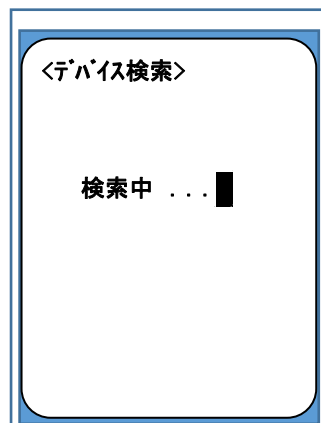
コピー側の製品は、「XIT-320-R」としての説明となります。

ここからは、マスター側(旧製品)のみの設定手順となります。

マスター側(旧製品)のみの設定



⑩<プロパティ>のメニューが表示されますので、【F2】キーを押下し<デバイス検索>を実行します。



⑪<デバイス検索>の画面が表示され検索が開始されます。「検索中...」の表示でカーソルが点滅し、コピー側の端末のデバイス名(この例では「XIT-320」)を検索しています。

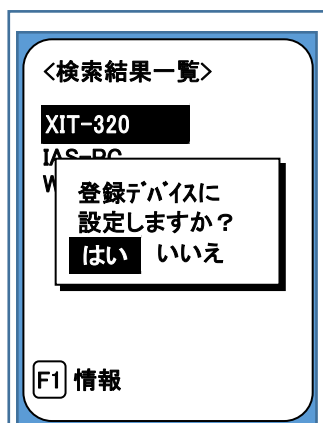
マスター側(旧製品)のみの設定



⑫ <デバイス検索>が終了すると<検索結果一覧>が表示されますので、カーソルキーを使用しコピー側のデバイス名(この例では「XIT-320」)を選択し、【ENT】キーを押下します。

もし、<検索結果一覧>にコピー側(XIT-3xx シリーズ)のデバイス名が検出されなかった場合は、【C】キーを押下すると⑩の画面に戻りますので再度【F2】キーを押下し、コピー側のデバイス名が見つかるまで<デバイス検索>を繰り返し実施してください。

この時、コピー側が⑧の<プロパティ>のメニュー画面になっている事を確認してから実施してください。 ※検出が出来なかった場合は、クローンは実施できません。

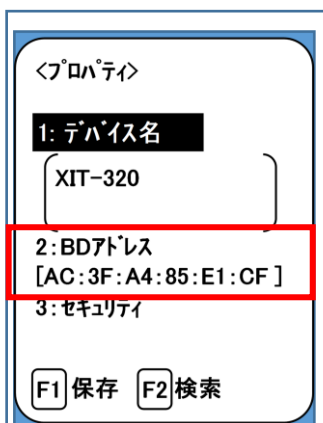


⑬ 「登録デバイスに設定しますか? はい いいえ」の表示が出ますので、カーソルキーを使用し「はい」を選択し、【ENT】キーを押下します。



⑭ 正しく登録されると、「登録しました」と OK の反転文字が出ますので、【ENT】キーを押下して登録を完了させます。

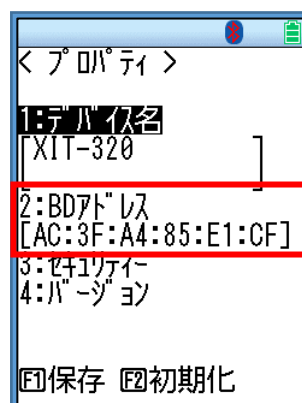
マスター側(旧製品)



⑮ <プロパティ>のメニューが表示され、登録した「デバイス名」と「BD アドレス」が表示されます。コピー側の「デバイス名」と「BD アドレス」と一致している事を確認します。

※赤枠表示部の BD アドレスが一致しているか確認して下さい。

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



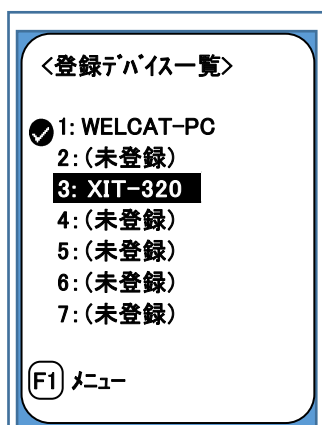
⑯ ⑧のコピー側で保持したままのローカルデバイスの<プロパティ>のメニュー画面に表示されている、「デバイス名」と「BD アドレス」がマスター側と一致している事を確認します。

※赤枠表示部の BD アドレスが一致しているか確認して下さい。

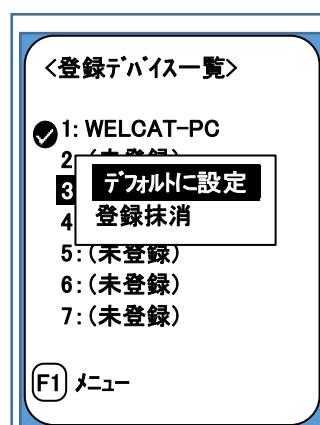
一致していたら、コピー側(XIT-3xx シリーズ)は【C】キーを3回押下し<システムメニュー>の画面に戻ります。アルファベットの大文字小文字の違いは一致と認識して問題ありません。ここまでで、コピー側の準備は完了です。

マスター側(旧製品)のみの設定

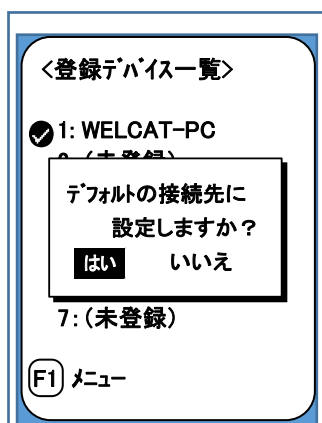
マスター側(旧製品)の<登録デバイス一覧>が全て(未登録)になっていて、「1:(未登録)」を選択し設定した場合は、登録したデバイス名が「1:XIT-320」で登録されます。この項目の前のチェックボックスにチェックがついている場合は、次の⑰～⑳の手順は不要です。



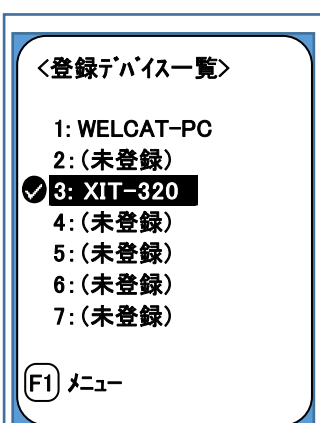
⑰【C】キーを押下すると、<登録デバイス一覧>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用しデバイス名の「XIT-320」を選択し、【F1】キーを押下します。



⑱ポップアップで「デフォルトに設定」と「登録抹消」の選択画面が表示されますので、カーソルキーを使用し「デフォルトに設定」を選択し、【ENT】キーを押下します。



⑲続けてポップアップで「デフォルトの接続先に設定しますか? はい いいえ」の表示が出ますので、カーソルキーを使用し「はい」を選択し、【ENT】キーを押下げます。



⑳<登録デバイス一覧>のメニューが表示されますので、デフォルトの接続先に設定したデバイス名(この例では「XIT-320」)が反転していることを確認し、【C】キーを4回押下し<システムメニュー>に戻します。

マスター側(旧製品)のクローンを実行するための準備は完了です。
<手順 4>の「クローンの実行」の手順に進んでください。

マスター側(旧製品)からコピー側(XIT-3xxシリーズ)へのクローンの準備として、手順 1～3 が必要です。但し、手順 2 の設定は必要ない場合もあります。ここまでの手順でクローンを行うための準備は完了です。

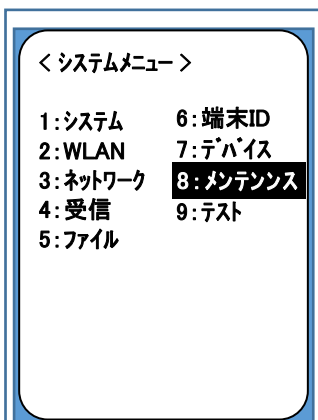
<手順 4>の「クローンの実行」の手順に進んでください。

《クローンの実行》

■手順 4 - クローンを実行する - (XIT シリーズ/PET-100-M からのクローンを実施する)

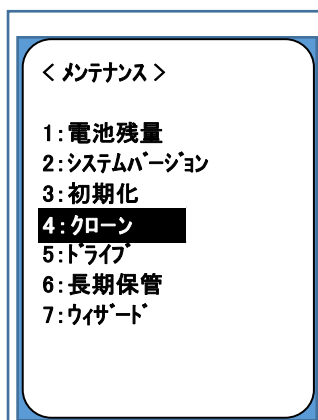
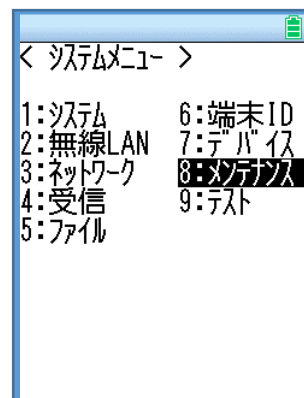
マスター側(旧製品)

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



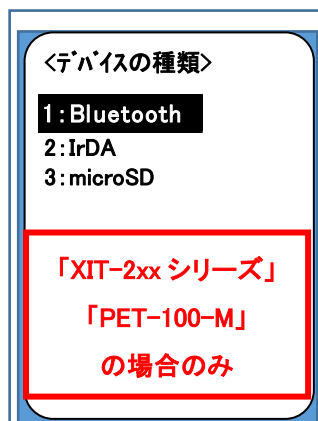
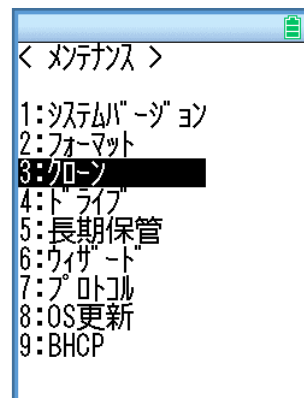
① <システムメニュー>の表示が出ますのでカーソルキーもしくは数字キーを使用し「8:メンテナンス」を選択し、【ENT】キーを押下します。

② <システムメニュー>の表示が出ますのでカーソルキーもしくは数字キーを使用し「8:メンテナンス」を選択し、【ENT】キーを押下します。



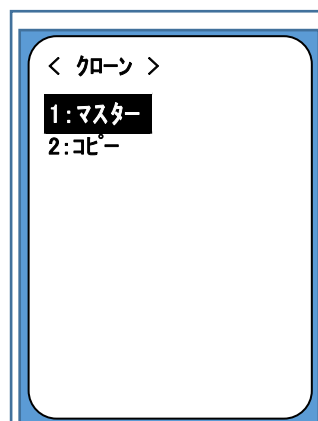
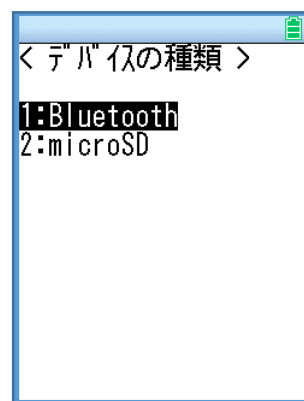
③ <メンテナンス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「4:クローン」を選択し、【ENT】キーを押下します。

④ <メンテナンス>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:クローン」を選択し、【ENT】キーを押下します。



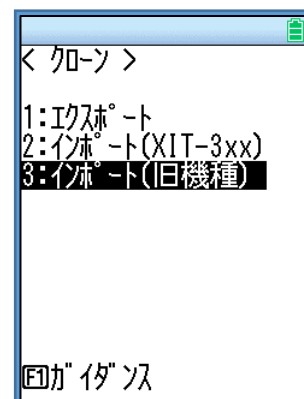
⑤ <デバイスの種類>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1: Bluetooth」を選択し、【ENT】キーを押下します。
※PET-100-M の場合は「3: microSD」の表示は出ません。

⑥ <デバイスの種類>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1: Bluetooth」を選択し、【ENT】キーを押下します。

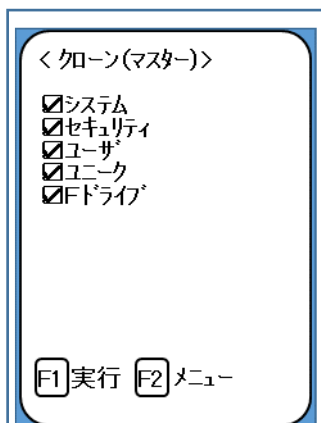


⑦ <クローン>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「1:マスター」を選択し、【ENT】キーを押下します。

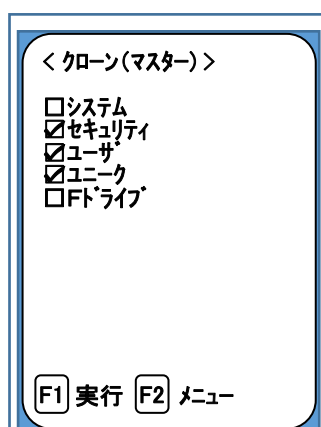
⑧ <クローン>のメニューが表示されますので、カーソルキーもしくは数字キーを使用し「3:インポート(旧機種)」を選択し、【ENT】キーを押下します。



マスター側(旧製品)



⑨<クローン(マスター)>のメニューが表示されます。クローンが不要な項目をカーソルキーで選択し、【ENT】キーを押下してチェックボックスのチェックを外します。



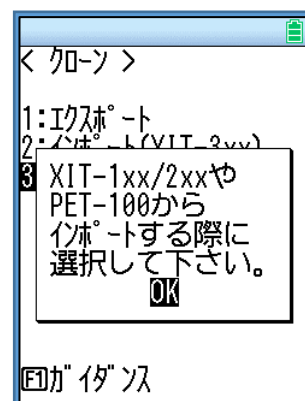
⑩クローンが必要な項目のみチェックボックスのチェックを残し、**【F1】キーを押下せずにそのままの状態**で、**コピー側の準備が整うまで待ちます。**

マスター側のチェックボックスの選択項目については、次頁<クローン(マスター)選択項目の説明>を確認し、チェックを残す項目を決定してください。「システム」については選択しなくてもかまいません。「Fドライブ」については、旧製品のアプリケーションソフト(OUT 拡張子のファイル)は XIT-3xx シリーズでは動作しませんので、この項目を選択しクローンを実行した場合、**クローン後にコピー側(XIT-3xx シリーズ)のFドライブから旧製品のアプリケーションソフトのファイルを削除してください。**

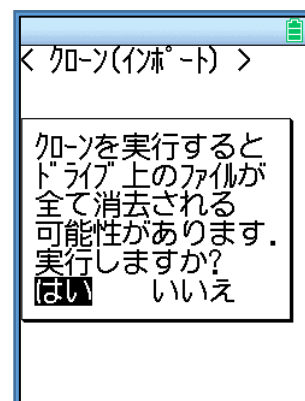
コピー側(XIT-3xx シリーズ)

<参考>(選択確認)

⑧の画面で【F1】キー(ガイドダンス)を押下すると「XIT-1xx/2xx や PET-100 からインポートする際に選択してください」と OK の転文字が表示されます。【ENT】キーを押下すると元の画面に戻ります。



⑪<クローン(インポート)>のメニューとなり、ポップアップで注意書が表示されますので、内容を確認のうえカーソルキーで「はい」を選択し、【ENT】キーを押下します。



※「はい」を選択すると、Fドライブ、Sドライブが初期化され、ドライブ上にあるアプリケーションソフトやデータ、音声や画像などのファイルが消去される場合があります。

※マスター側(旧製品)を無線 LAN 非対応製品、コピー側(XIT-3xx シリーズ)を無線 LAN 対応製品としてクローンを実施した場合、コピー側で既に無線 LAN の設定を行っていても消去され出荷時設定(初期状態)に戻りますのでご注意ください。

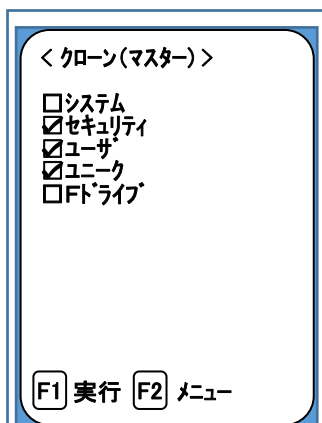
<クローン(マスター)選択項目の説明>

システム	本製品のシステムソフトウェア(OS)が独自に管理しているパラメーターです。 ユーザのアプリケーションソフトで使われることはありませんので、この項目は選択しなくても構いません。
セキュリティ	システムメニューの起動時パスワードと Bluetooth または無線 LAN のセキュリティ設定です。 コピー端末でも同じセキュリティ設定を使用したい場合は選択します。
ユーザ	セキュリティ、ユニーク以外の全てのシステムメニューで設定したパラメーターです。 この項目を選択すると、システムメニューで設定したパラメーターの大半が複製されます。
ユニーク	端末 ID および Bluetooth のローカルデバイス名と自局のセキュリティ設定です。 基本的には各端末に固有のパラメーターですが、それも含めて複製したい時には選択します。
F ドライブ	F ドライブに格納されたファイルをコピーします。 アプリケーションソフトやマスターファイルなどを複製したい時に選択します。

※旧製品の無線 LAN の設定と Bluetooth の登録デバイスの設定のみを移行したい場合は、他の項目のチェックを外し、「セキュリティ」と「ユーザ」と「ユニーク」の3項目のみにチェックを入れて実行してください。

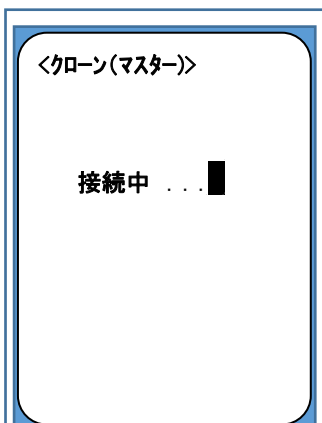
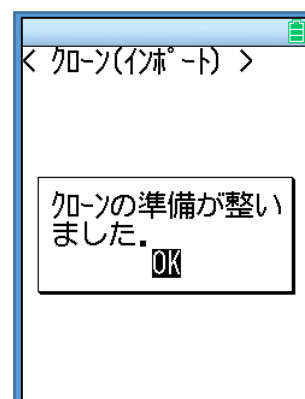
マスター側(旧製品)

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



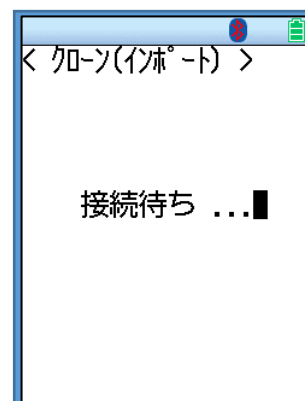
⑫コピー側で⑬⑮の操作を行い「接続待ち...」の表示がされたことを確認したら、【F1】キーを押下してクローンを実行します。

⑬<クローン(インポート)>のメニューのまま「絶対に電池を外さないでください!」という警告がポップアップで表示されます。その後「クローンの準備が整いました。」とOKの反転文字が表示されるので、【ENT】キーを押下します。



⑭<クローン(マスター)>のメニューのまま中央に「接続中...」と表示されカーソルが点滅し、コピー側との接続中になります。

⑮<クローン(インポート)>のメニューのまま中央に「接続待ち...」と表示されカーソルが点滅します。この状態がマスター側との接続待ちとなりますので、⑫の通りマスター側でクローンを実行してください。



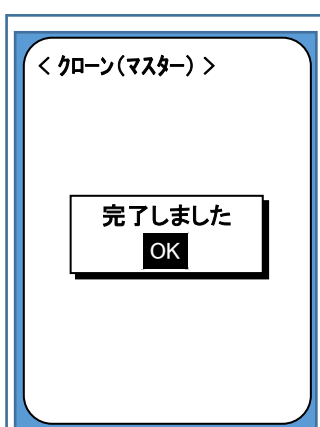
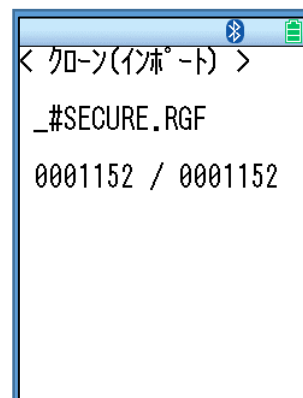
マスター側(旧製品)

コピー側(XIT-3xx シリーズ)



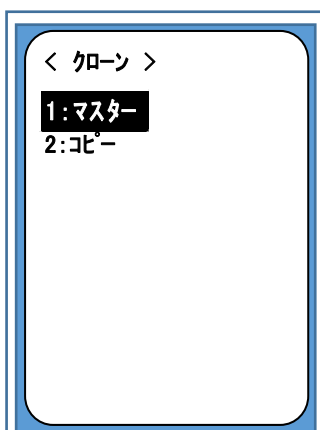
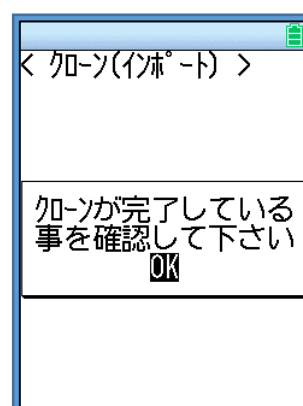
⑬コピー側との接続が完了すると、選択した項目のクローンを開始します。クローンが始まると「クローン中...」と表示されカーソルが点滅します。

⑭接続が完了しクローンが開始されると、設定情報等の転送進捗状況が表示されますのでそのまましばらく待ちます。(Fドライブをクローンの項目に選択した場合、ファイル数やサイズにより時間が掛かる事があります。)



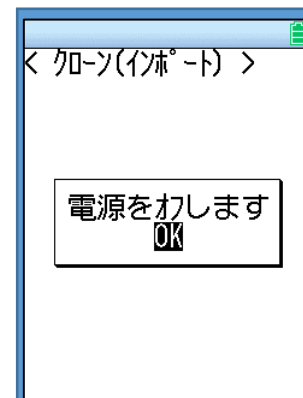
⑮マスター側の転送が完了すると、「完了しました」とOKの反転文字が表示されますので、コピー側のクローンが完了している事を確認し、【ENT】キーを押下します。

⑯転送が完了すると「クローンが完了している事を確認ください」とOKの反転文字が表示されますので、マスター側に「完了しました」とOKの反転文字が表示されている事を確認し、【ENT】キーを押下します。



⑰「クローン」のメニューの表示に戻りますので、【C】キーを2回押下して「システムメニュー」に戻ってください。

⑱「電源をオフします」とOKの反転文字が表示されますので、【ENT】キーを押下します。端末の電源が落ちてクローンは完了となります。



【クローン完了後の注意点】

1. 「端末 ID」など各端末固有の設定箇所も「マスター側」、「コピー側」の設定値が同じ値になっています。ご運用に合わせて設定の変更をお願いいたします。
2. クローン実施のために、「マスター側」の端末の Bluetooth の「登録デバイス」の設定で、デフォルトの接続先設定を変更しています。また、「ローカルデバイス」のデバイス名もマスターで設定されてるデバイス名となっています。ご運用に合わせてデフォルトの接続先設定並びにデバイス名を変更してからご使用ください。デフォルトの接続先の設定変更方法は「手順 3」の⑰～⑳を参考にしてください。
3. クローンの選択項目で「Fドライブ」を選択された場合、XIT-3xx シリーズでは使用できない旧製品のアプリケーションソフトがコピーされていますのでご運用時はご注意ください。